

## あなたの胃、ピロリ菌はいませんか・・・？

皆さんもピロリ菌という細菌の名前を聞いたことがあるかと思います。これは胃の中に住む細菌ですが、日本人の約半分の方が感染しているといわれています。この細菌、ピロリ菌という可愛らしいネーミングに反して、人間にとって悪いことするくせ者です。慢性胃炎や消化性潰瘍の原因となり、とくに慢性胃炎患者の1～3%に胃がんを発生させることが明らかとなっています。ピロリ菌未感染の胃からの発癌は極めて低いのです。

近年、慢性胃炎の治療（＝ピロリ菌の除菌）により胃がんが予防できることが確認されました。

中国でおこなわれた大規模な比較臨床試験でピロリ菌の除菌による胃がん予防効果が確認されました。日本でもいくつかの検証がなされ、除菌により胃がん発生が3分の1～6分の1に減るとの報告が続きました。とくに、より若い年齢層で除菌すれば、より胃がんのリスクが軽減すると考えられています。30歳代で除菌すれば99%、40歳代で除菌すれば90%の胃がん発生を予防できるのではないかと推察されています。ですから、胃がんをあまり心配していない世代の方ほどピロリ菌の感染診断を受けていただきたいのです。

感染診断にはいくつかの方法がありますが、最も簡便なのは、尿や血液検査によりピロリ菌抗体の有無を調べる方法です。ピロリ菌の除菌は、胃酸分泌抑制薬と抗菌薬を組み合わせた内服治療を7日間行います。1回目の除菌治療で成功する方は約80～90%、1回目の治療が不成功に終わっても、抗菌薬の組み合わせを変更した2回目の治療を行えば約95%の方が除菌に成功します。

現在いくつかの自治体や企業では、ピロリ菌の感染診断を行い、より若い方の感染者の拾い上げを行い、胃がんの早期発見や胃がん発生予防につとめようとする動きがあります。

もし、ご両親やご家族に胃がんや消化性潰瘍をお持ちの方がおいででしたら一度ピロリ菌の感染を調べてみたらいかがでしょうか？

ただし、感染診断は通常医療保険が使えません。3000円～5000円程度の自費診療となります（ケースによっては保険診療可能です）。かかりつけの医師にご相談ください。



多摩東部地域産業保健センター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 0422-24-6906 FAX 0422-24-6908

HP <http://www.sanpo-tama.jp/> メールアドレス [sanpo@kind.ocn.ne.jp](mailto:sanpo@kind.ocn.ne.jp)